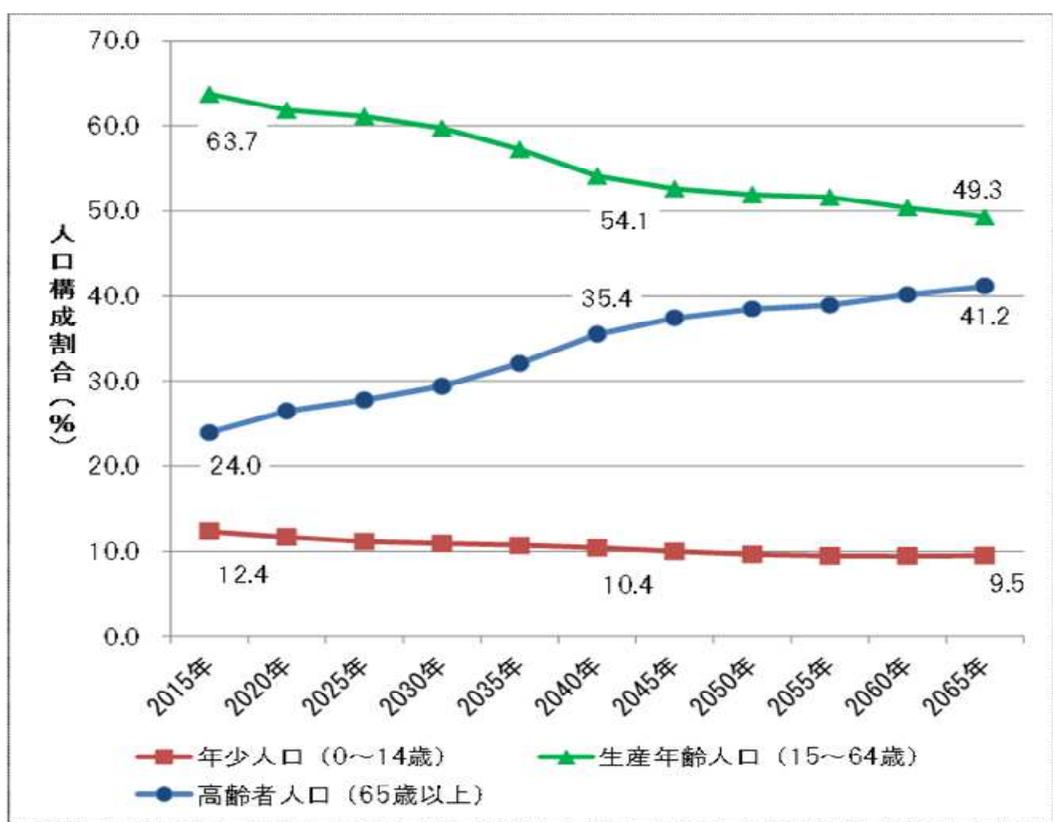
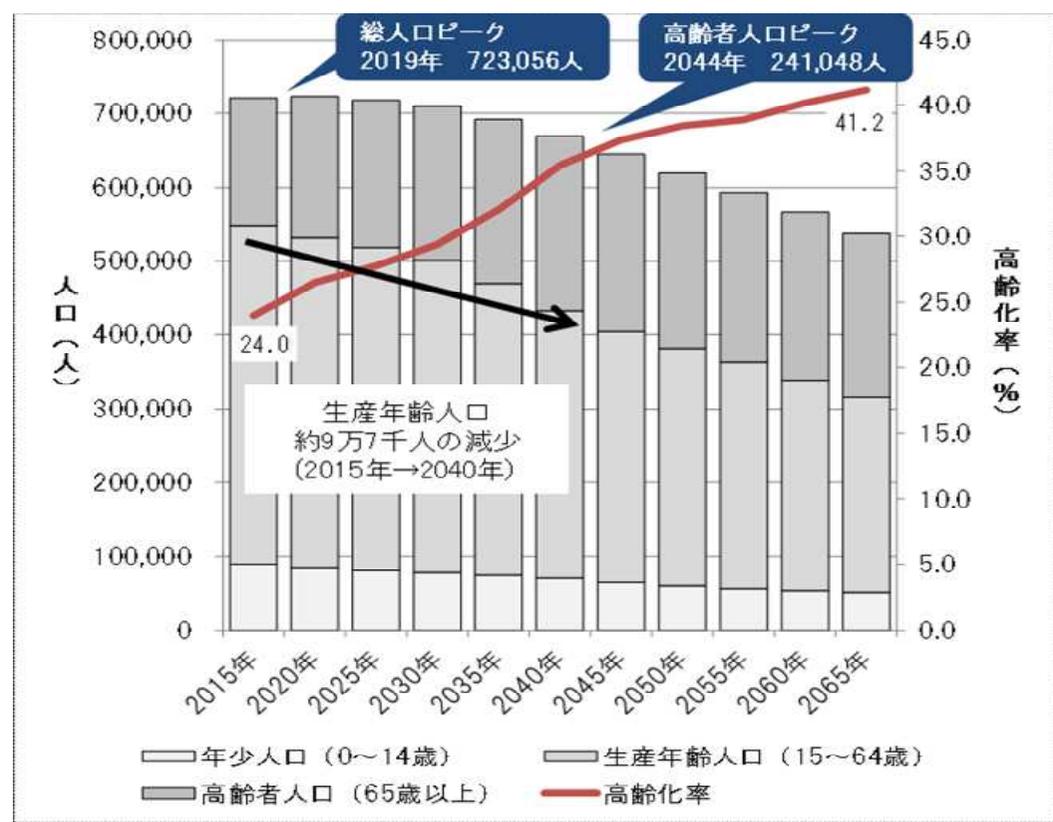


次期総合計画策定に係る基礎フレームの推計等



# 人口推計

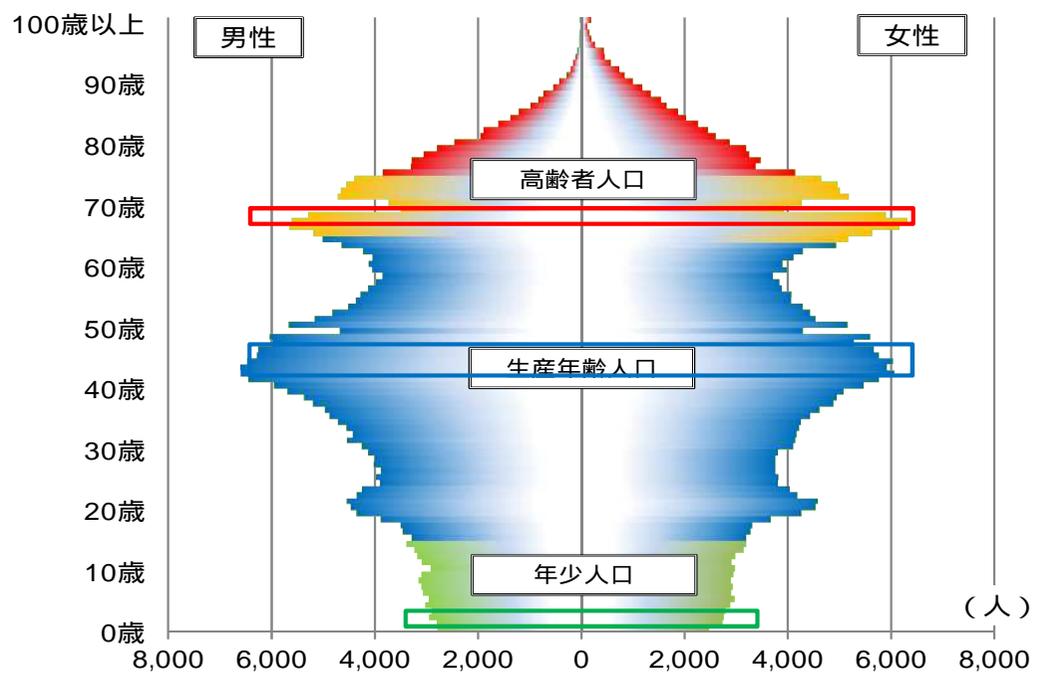
本市の人口は2019年の723,056人をピークに減少に転じる見込み  
 2065年には536,958人まで減少し、現状の3/4程度となる（減少率25.5%）  
 年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は今後、一貫して減少  
 高齢者人口（65歳以上）は2044年まで増加、2065年の高齢化率は41.2%



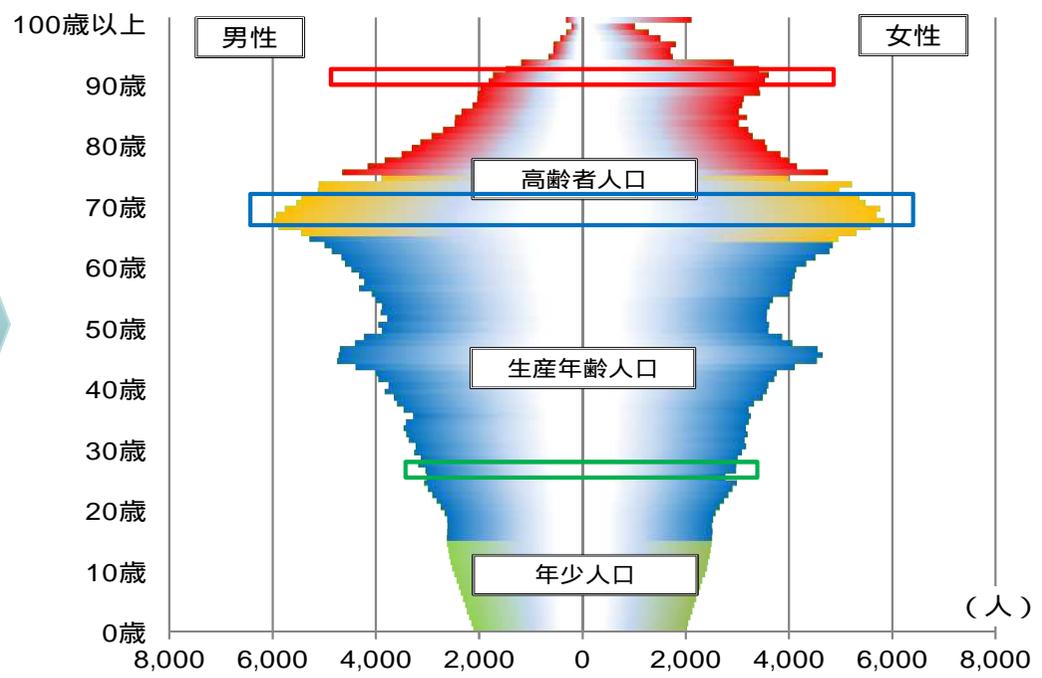
# 年齢別人口推計

2040年の相模原の人口は、全国の年齢分布とほぼ同様の傾向を示している。

人口ピラミッド (2015年)

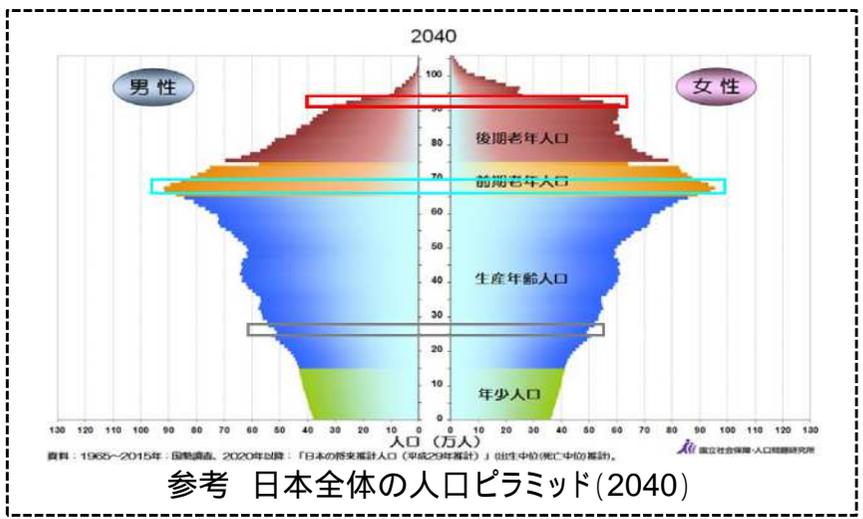


人口ピラミッド (2040年)



	2015年	2040年
団塊の世代 1947～49生まれ	11,626人 66～68歳	4,786人 91～93歳
団塊ジュニア 1947～49生まれ	12,460人 41～44歳	11,592人 66～69歳
【参考】 2013～15生まれ	5,492人 0～2歳	5,976人 25～27歳

2015年、2040年の各世代人口は各年齢の平均を記載。



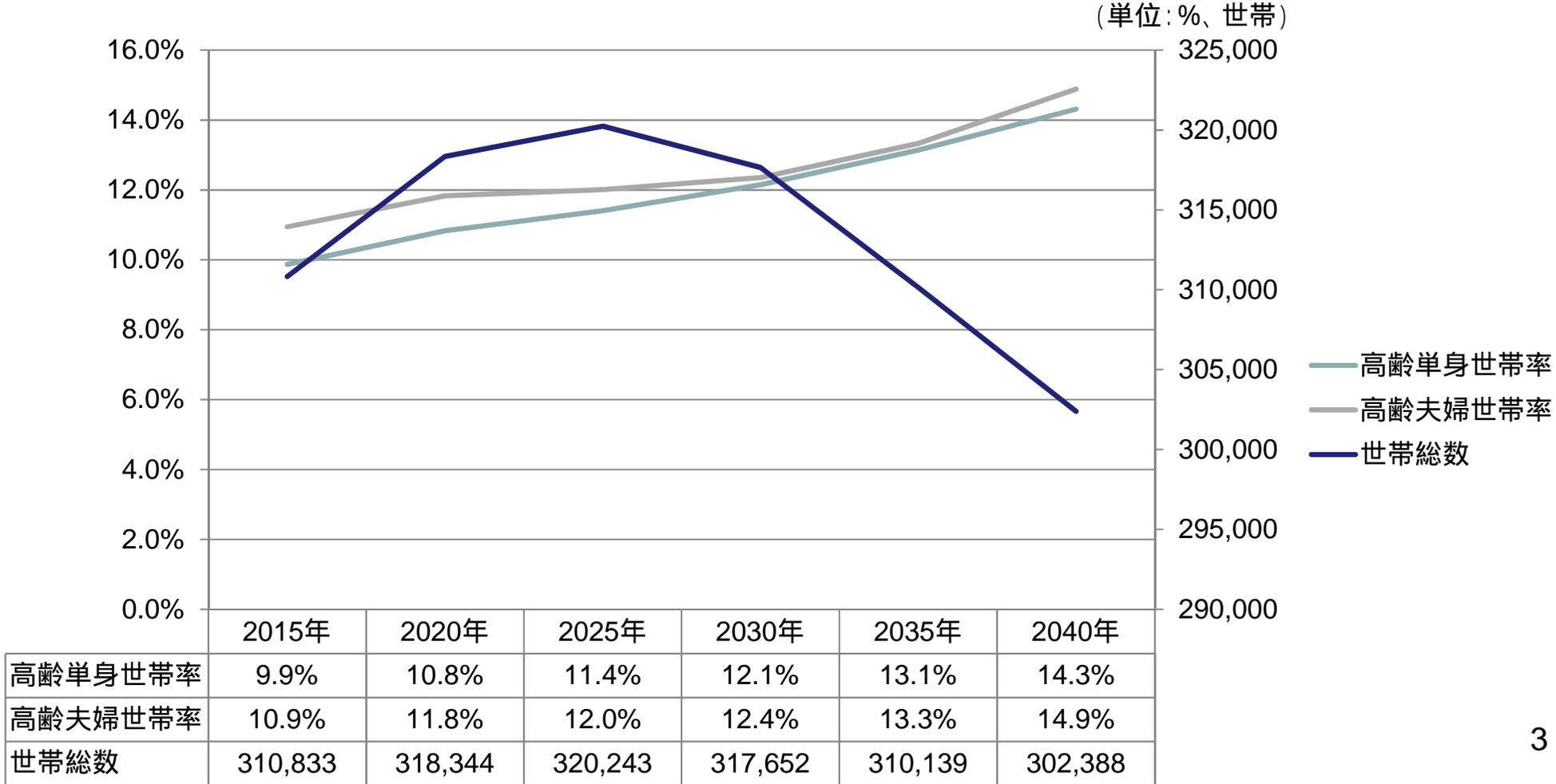
参考 日本全体の人口ピラミッド(2040)

# 総世帯数、高齢単身・夫婦世帯数推計

総世帯数は2025年にピークを迎え、以降は減少し、2045年には294千世帯となる。

高齢者のみの世帯の動向について、高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯が総世帯数に占める比率はともに一貫して増加し、2040年には高齢単身世帯率は14.3%、高齢夫婦世帯率は14.9%となる。

高齢単身世帯率、高齢夫婦世帯率及び総世帯数の将来推計値(全市)



# 地区毎の世帯推計

総世帯数は、津久井地区、相模湖地区、藤野地区、相武台地区、東林地区は今後一貫して減少、またそれ以外の地区も当面は増加するがその後は減少する。津久井地区、相模湖地区、藤野地区、相武台地区の減少率が特に大きいと見込まれる。

地区別の世帯推計

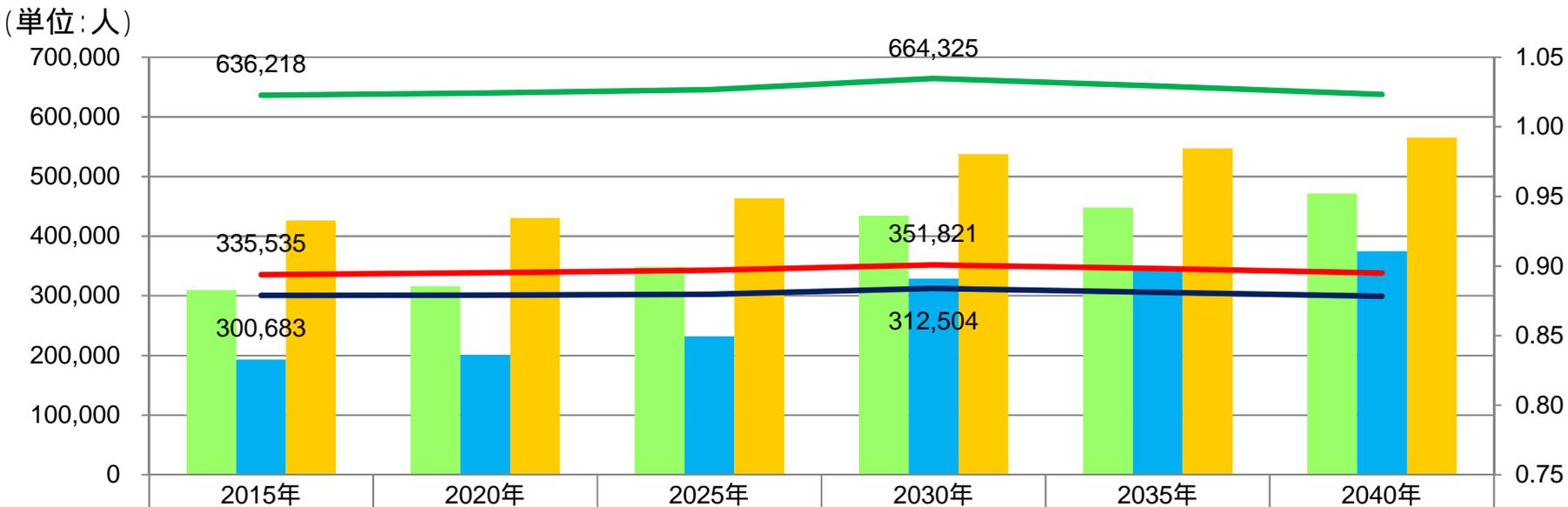
(単位:世帯)

		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2015年 2045年 変化率
緑区	橋本地区	31,506	32,321	32,548	33,232	32,630	32,053	31,504	0.0%
	大沢地区	13,005	13,259	13,281	12,987	12,490	11,959	11,430	-12.1%
	城山地区	9,080	9,199	9,148	8,851	8,402	7,968	7,555	-16.8%
	津久井地区	10,173	10,021	9,637	9,097	8,376	7,623	6,844	-32.7%
	相模湖地区	3,621	3,564	3,425	3,211	2,965	2,710	2,455	-32.2%
	藤野地区	3,707	3,499	3,261	2,999	2,728	2,462	2,190	-40.9%
中央区	小山地区	9,384	9,644	9,739	10,357	10,209	9,991	9,725	3.6%
	清新地区	13,829	14,717	15,204	15,329	15,270	15,189	14,983	8.3%
	横山地区	6,096	6,471	6,683	6,777	6,815	6,847	6,812	11.7%
	中央地区	16,764	17,281	17,452	17,304	16,978	16,595	16,155	-3.6%
	星が丘地区	7,447	7,558	7,571	7,467	7,266	7,034	6,798	-8.7%
	光が丘地区	11,143	11,161	11,001	10,568	9,927	9,324	8,845	-20.6%
	大野北地区	26,038	27,553	28,310	28,570	28,557	28,522	28,428	9.2%
	田名地区	11,977	12,247	12,289	12,056	11,651	11,218	10,792	-9.9%
上溝地区	13,431	13,748	13,823	13,666	13,381	13,047	12,647	-5.8%	
南区	大野中地区	26,477	26,928	26,965	26,462	25,686	24,909	24,209	-8.6%
	大野南地区	34,570	35,868	36,445	36,588	36,612	36,691	36,672	6.1%
	麻溝地区	7,298	7,557	7,716	7,781	7,778	7,718	7,614	4.3%
	新磯地区	5,357	5,477	5,479	5,396	5,262	5,108	4,912	-8.3%
	相模台地区	21,332	21,857	22,421	22,052	21,488	20,985	20,480	-4.0%
	相武台地区	9,184	9,032	8,738	8,323	7,783	7,223	6,666	-27.4%
	東林地区	19,416	19,380	19,107	18,577	17,887	17,212	16,538	-14.8%

# 昼間人口・昼夜間人口比率の推計

昼間人口は、2030年にピークをむかえ、以降は減少し2040年には637,455人となる。一方で、昼夜間人口比率は、今後一貫して上昇し、2040年には0.95となる。

昼間人口の将来推計と昼夜間人口比率



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
昼夜間人口比率 総数	0.88	0.89	0.90	0.94	0.94	0.95
昼夜間人口比率 男性	0.83	0.84	0.85	0.89	0.90	0.91
昼夜間人口比率 女性	0.93	0.93	0.95	0.98	0.98	0.99
昼間人口 総数	636,218	639,992	645,604	664,325	651,575	637,455
昼間人口 男性	300,683	301,344	302,628	312,504	305,927	299,416
昼間人口 女性	335,535	338,648	342,976	351,821	345,648	338,039

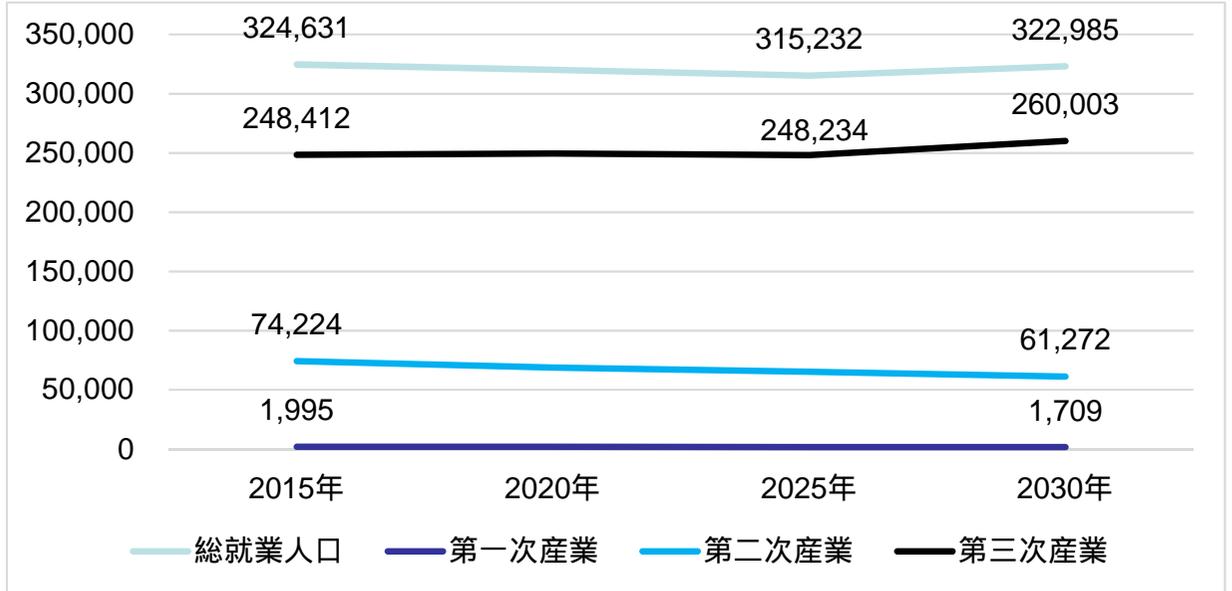
■ 昼夜間人口比率 総数 
 ■ 昼夜間人口比率 男性 
 ■ 昼夜間人口比率 女性 
 — 昼間人口 総数 
 — 昼間人口 男性 
 — 昼間人口 女性

# 総就業人口等の推計

就業人口：市内在住で、市内もしくは市外を従業地として収入を得て働いている者の数

全市の総就業人口は、2025年まで継続して減少し315,232人となるが、2030年には開発インパクトの影響で増加し322,985人となる。

総就業人口および産業別就業人口の将来推計 (単位:人)

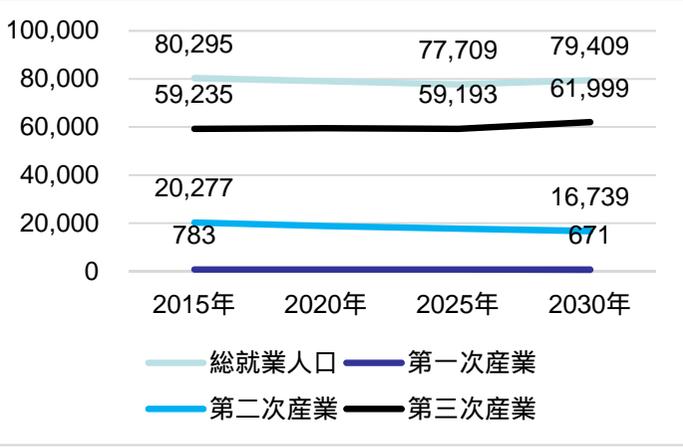


推計に加味した大規模な就業人口増につながる事業

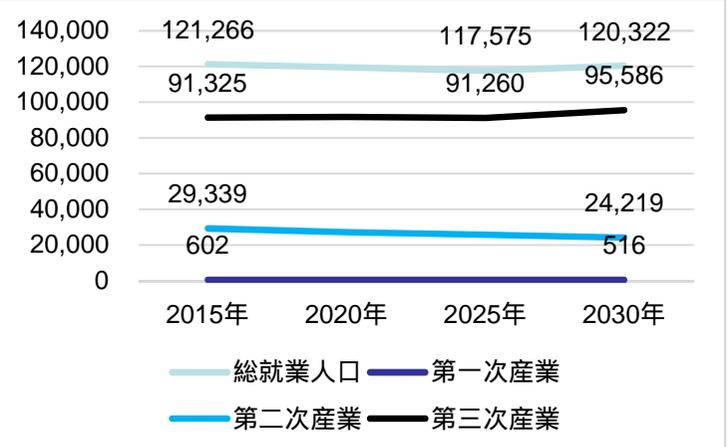
(開発インパクト)

地区名	区	産業区分	就業人口	供用時期	反映時期
橋本駅周辺整備事業	緑	第三次産業	2,400	平成40、41年 (2028,2029年)	平成42年 (2030年)
相模原駅周辺地区整備事業	中央	第三次産業	13,200	平成39年 (2027年)	平成42年 (2030年)
麻溝台・新磯野地区整備推進事業(第一整備地区)	南	第二次産業	500	平成31~35年 (2019~2023年)	平成37年 (2025年)
		第三次産業	1,200		
当麻地区整備促進事業(塩田原地区)	南	第二次産業	400	平成33、34年 (2021,2022年)	平成37年 (2025年)

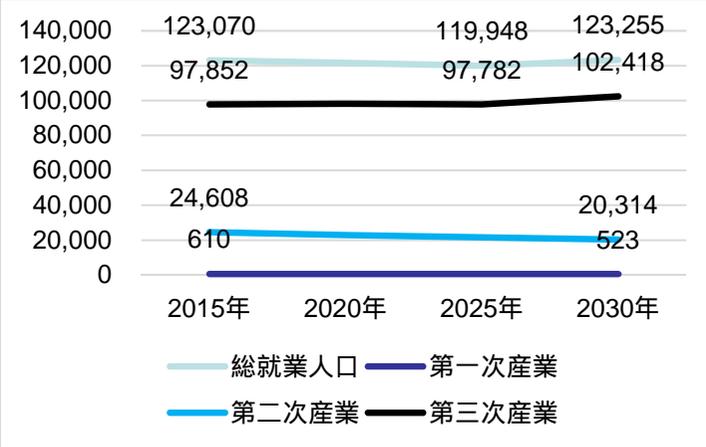
緑区 (単位:人)



中央区 (単位:人)



南区 (単位:人)

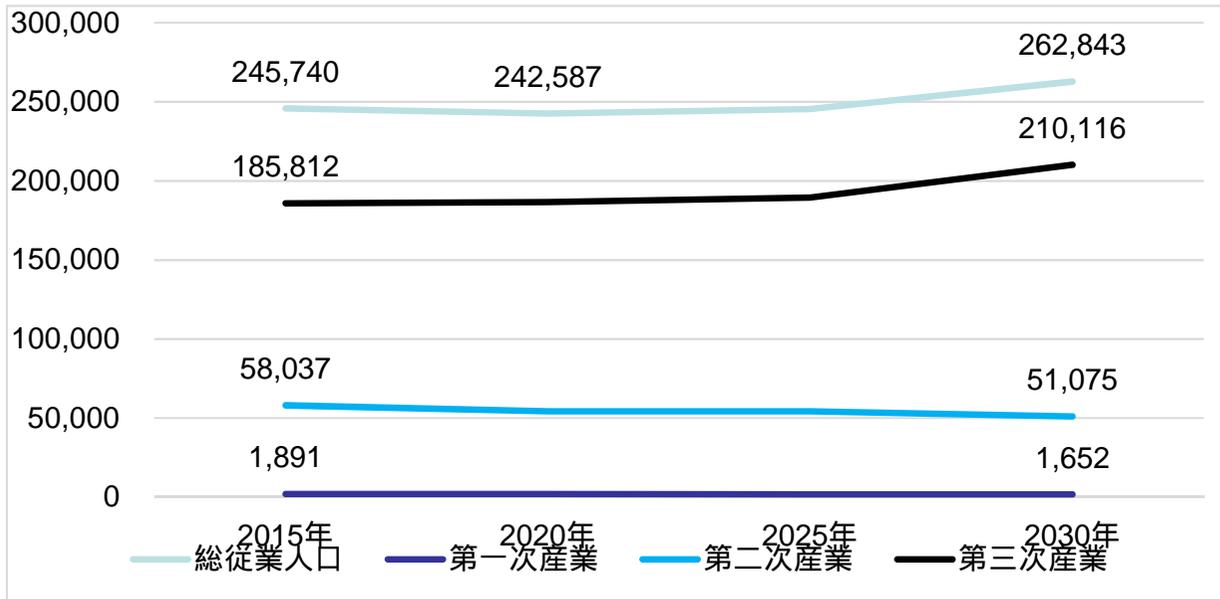


# 総従業員人口等の推計

従業員人口：市内もしくは市外在住で、市内を従業員地として収入を得て働いている者の数

全市の総従業員人口は、2020年において242,587人で最低値となり、その後2025年まで継続してほぼ横ばいだが、2030年には開発インパクトの影響で増加し262,843人となる。

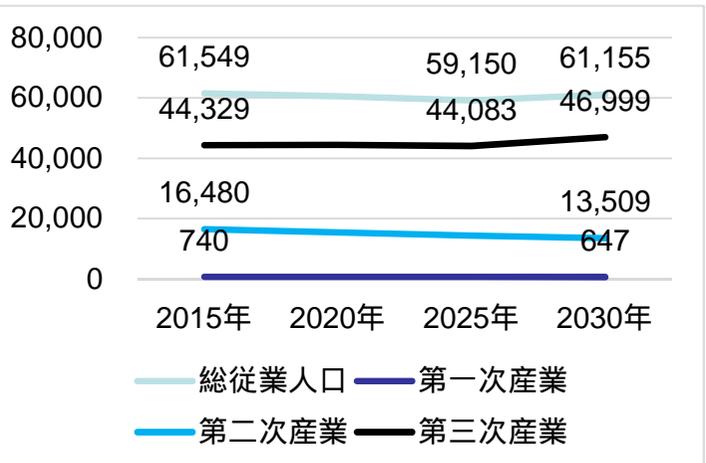
総従業員人口および産業別従業員人口の将来推計 (単位:人)



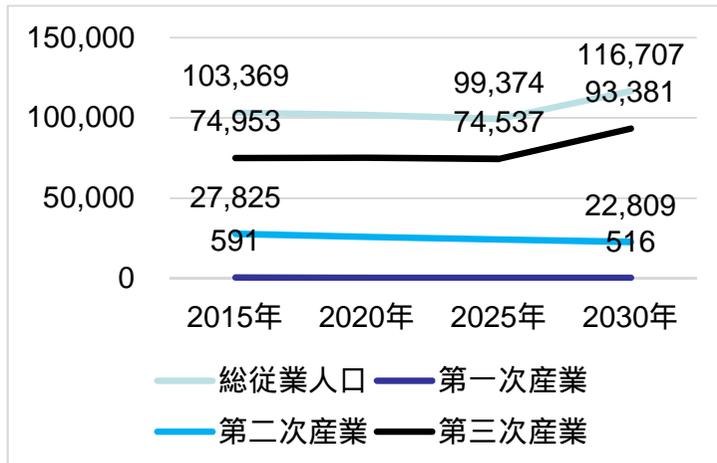
推計に加味した開発インパクト

地区名	区	産業区分	従業員人口	供用時期	反映時期
橋本駅周辺整備事業	緑	第三次産業	3,600	平成40、41年 (2028,2029年)	平成42年 (2030年)
相模原駅周辺地区整備事業	中央	第三次産業	20,000	平成39年 (2027年)	平成42年 (2030年)
麻溝台・新磯野地区整備推進事業(第一整備地区)	南	第二次産業	1,800	平成31~35年 (2019~2023年)	平成37年 (2025年)
		第三次産業	4,600		
当麻地区整備促進事業(塩田原地区)	南	第二次産業	1,700	平成33、34年 (2021,2022年)	平成37年 (2025年)

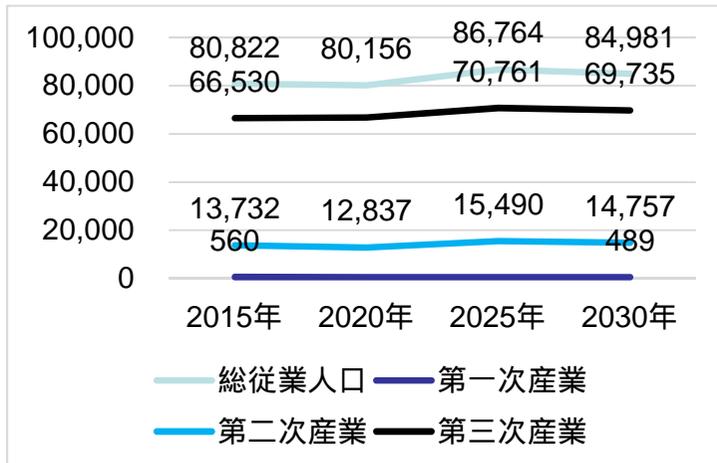
緑区 (単位:人)



中央区 (単位:人)



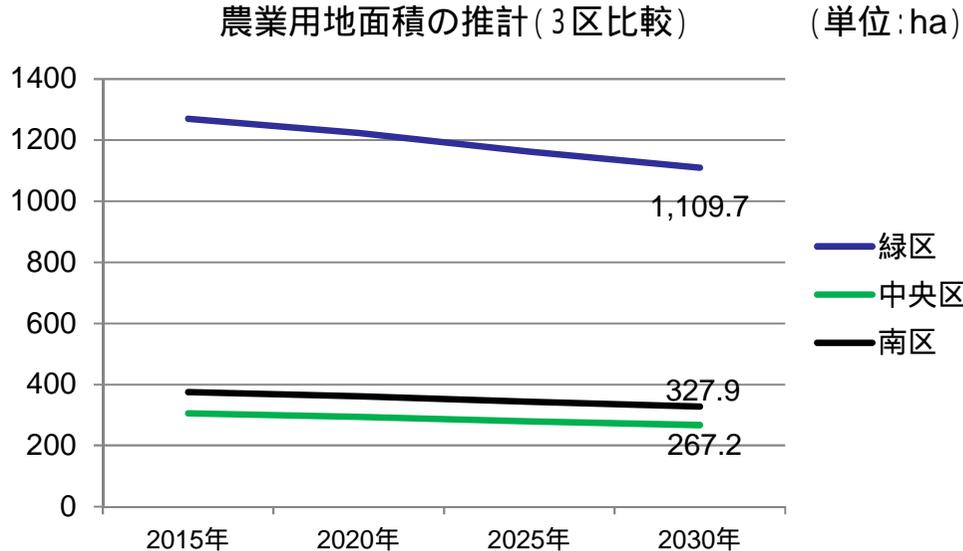
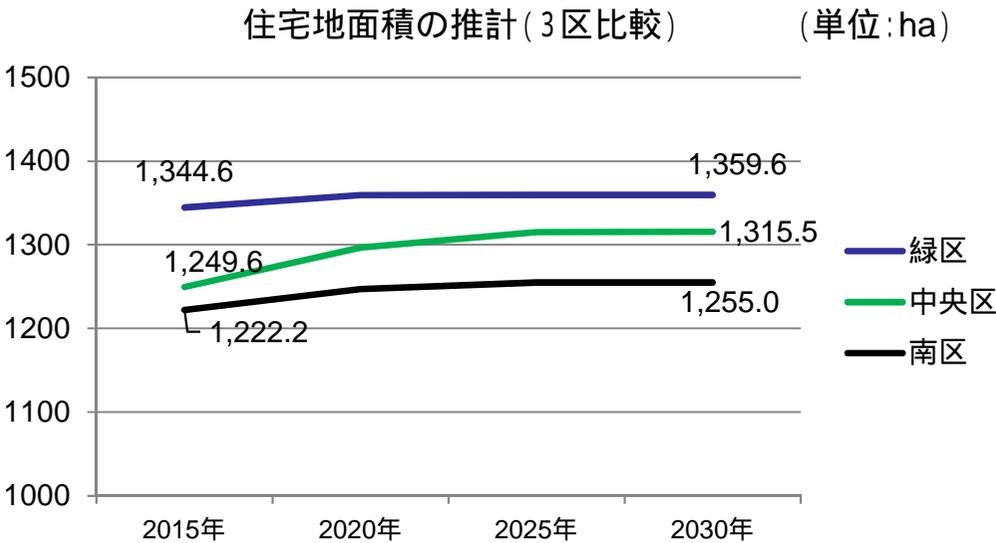
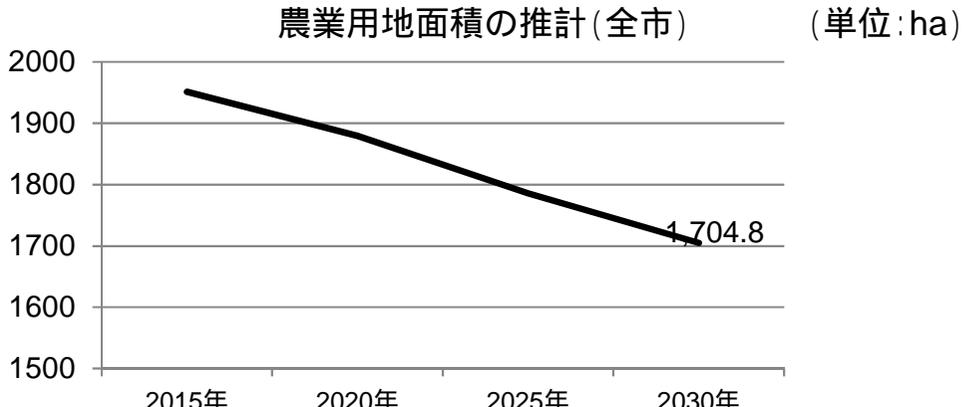
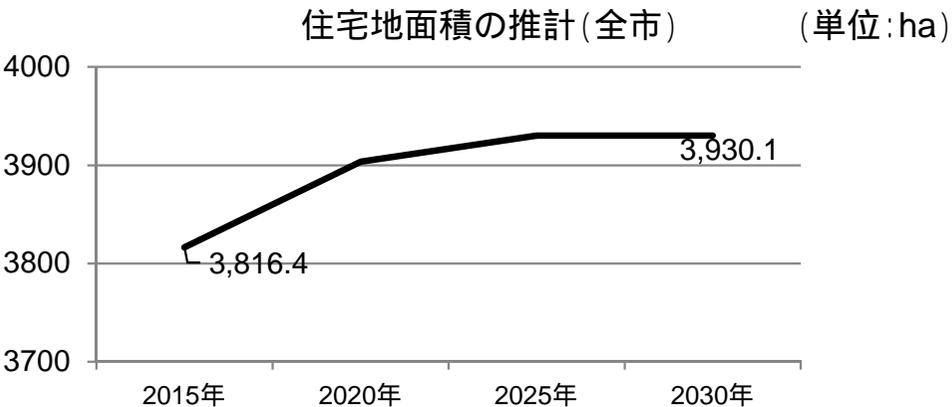
南区 (単位:人)



# 住宅地面積・農業用地面積の推計

全市の住宅地面積は住宅戸数の増加に準じて2025年まで継続して増加し、2030年の住宅地面積は3,930.1haとなっている。

全市の農業用地面積は2030年まで減少傾向で、2030年は1,704.8haとなっている。

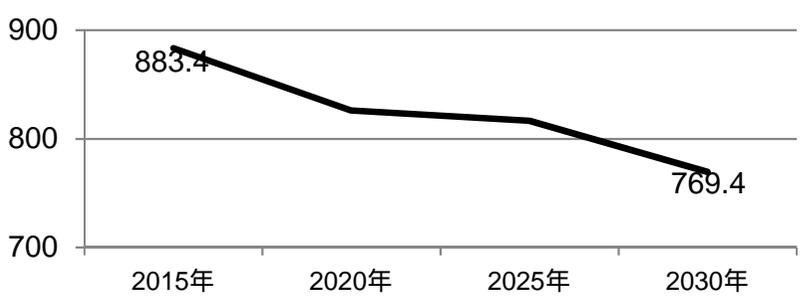


# 工業用地面積・商業用地面積の推計

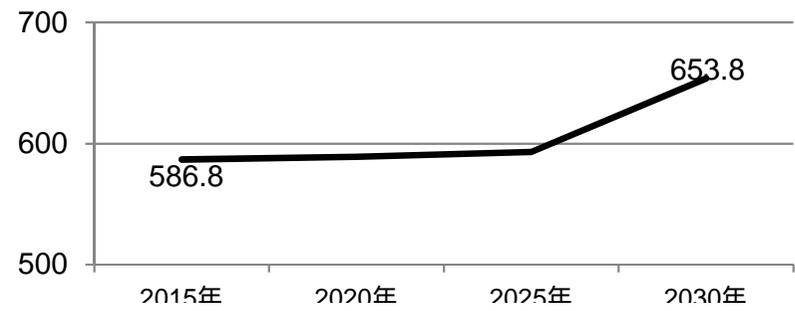
全市の工業用地面積は2030年まで減少傾向で、2030年は769.4haとなっている。

全市の商業用地面積は2025年までほぼ横ばいで推移し、商業用地面積は653.8haとなっている。

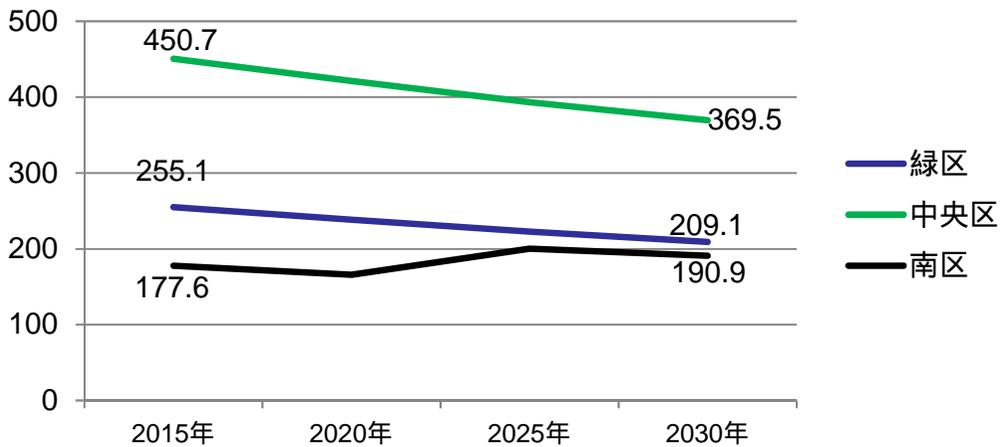
工業用地面積の推計(全市) (単位:ha)



商業用地面積の推計(全市) (単位:ha)



工業用地面積の推計(3区比較) (単位:ha)



商業用地面積の推計(3区比較) (単位:ha)

